

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 斜里飽寒別地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「斜里町田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

斜里町は、「知床国立公園」、「網走国定公園」、「斜里岳道立自然公園」等緑環境に恵まれ、「みどりと人間の調和」を町是とし、農業、漁業、観光の自然産業により成立している環境と調和した町である。

【課題】

地球にやさしい農村環境を目指すため、土地改良事業は環境にやさしい手法、負荷を軽減する工法で最大限の効果を求めていく必要がある。

《環境保全の基本的考え方》（「斜里町田園環境整備マスタープラン」より）

維持し続けたい農村部の広大な原風景（半自然）、国有林・民有林で連続していく防風保安林、減りつつある畑地の中の防風林で構成・連続していく緑空間を質量とも拡大し、健全で快適な環境を実現する。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道東部の斜里町に位置し、オホーツク海に面した一級河川斜里川右岸の平地に拓けた畑作地帯であり、斜里岳を背景として、農地と防風林により、農村景観が形成されている。

網走国定公園、斜里岳道立自然公園に囲まれ、自然豊かな環境が形成されており、本地区の排水施設及びその周辺では、希少な魚類等多くの生物の生息、生育が確認されている。

本事業においては、斜里町の田園環境整備マスタープランとの整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・排水路構造を土水路河床にすることにより、魚類の産卵環境に配慮する。また、法留め工に自然繊維シートを用いることで飛沫種子の捕捉と定着を促し、在来植生の回復を図る。
- ・新設する排水路が防風林を横断する区間があることから、既設道路沿いをルートに選定し新たな防風林の分断を避けるとともに、伐採範囲を縮小できる柵渠等の構造とする。また、工事実施前に希少在来植物の目視調査を行い、生育が確認された場合は、工事区域外の生育に適した場所へ移植する。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 景観への配慮

- ・新設する排水機場の建屋には周辺景観と調和する色彩を採用するとともに、敷地外周には周辺と同樹種を植樹する。